

模試を活用しよう!

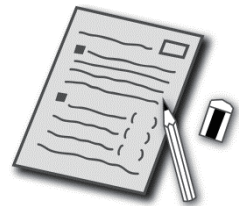
1 なぜ模試を受けるのか

模試を受けたら結果だけを見ておしまい、という人は多いと思います。でも、それはとてももったいないこと。模試には勉強に役立つことがたくさんあります。

- 自分の今の実力がわかる
- 今後の学習の計画を立てやすくなる
- 本番の緊張感を体験したり、試験の受け方を練習できたりする

模試のもっとも大切な目的は、自分の今の実力を知り、本番までの勉強計画に反映することです。結果が悪かったときこそ、自分がどんな失敗をしやすいかを知るチャンス。模試で苦手分野がわかれば、弱点を克服するための計画を立てることもできます。さらに、そうした課題への対策が合っているのかも、模試を再び受ければ確認できるのです。

いつもは解ける問題なのに試験では緊張して頭が真っ白になった！そんな経験をした人もいます。試験で緊張するのは当たり前のこと。本番で実力を発揮するためにも、模試で緊張に慣れておくこと、試験の受け方をシミュレーションしておくことが大切です。



2 模試を受けるときのポイント

模試は、ただ何となく受けて解けばいいというものではありません。模試を本物の入試だと思って挑んでこそ高い効果が得られます。

①本番と同じ心構えで取り組む

模試では、前日の持ち物の用意、試験会場への行き方などの下調べ、知っている人がいない中で感じるストレスなど、入試本番さながらのことが体験できます。会場では、塾や学校の友達とはしゃいだりせず、本番と同じ緊張感を持って試験に取り組みましょう。

②時間配分を練習する

どの問題から解くか、どれくらいの時間をかけるか、最初にペース配分を決めて取り組みましょう。予想以上に時間がかかってしまった場合、どの問題を優先するか、残り時間をどう使うかといった判断力は、練習しないと身につかないもの。弱点は、苦手な教科や単元だけとは限りません。模試は、失敗・成功といったさまざまな経験を増やし、本番で役立つテクニックを磨ける場でもあります。

